取 県 公 報(号外)

監. 査 公

鳥取県監査公告第百六十七号

係る県議会事務局、人事委員会並びに地方労働委員会の 地方自治法第百九十九条の規定に基き、 昭和三十年度に

定期監査を執行したので、その結果を次の通り公表する。

昭和三十二年二月十五日

鳥取県監査委員

同

同

谷

本

四利

郎治

髙

のと認めた。

の関係事案の事務処理、 会は頻繁に行われたがすべて議会活動に関するこれら 本年度において招集された議会は、

定例四回、

臨時五

計九回で延四十七日間開催し、

このほか各種委員

或いは会議録の発行、図書室

の運営等各般の事務は概ね支障なく処理されてきたも

H

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可毎週火、命曜日發行(但休日に当るときは翌日)

県会事務局 監 查箇所

昭和三十一年十一月五日監査 執 行 ij.

地方労働委員会 人事委員会

昭和三十一年 一月六日監査

監査委員 昭和三十 本 一年十 一月五日監査

務

本 ДЦ

郎

近 伝

総務、調査、議事の三課制と図書室により、 長以下二十五名である。 当事務局は県議会運営に関する事務処理を掌理し、 職員は局

同

大

西

人 事 委 員

会

監査委員

地方労働委員会

監査委員

[ii]

大

西

れているものと認めた。

昭和四年四月十五日第三種郵便物: ٠.,

等に係る諸般の資料集收、

発 行 日 火

金

緊密を図り円滑なる運営を期するよう留意されたい。 各任命権者相互間の人事行政の連絡調整等につき一 労働争議の調整及び判定並びに労働組合の資格審査 人事主任者会議を効率的に運営されたい。 当委員会の予算経理その他所営業務は適正に執行さ 昭和三十一年十一月六日監査 及び実状調査等を実施し事 和三十一年十一月六日監査 ĮŲ. 箭 四利 夫 郎 郎 夫 治 圃 二 経理出納その他事務処理は適正に執行されているも 関との連携を図りこれらに対する実態はあくの徹底と 件の早期解決に努力しているが のと認めた。 積極的指導に一層の努力を望む。 向が依然として強いように思はれるので、更に関係機 が相当にあり、積極的公正な組合活動が阻害される傾 を慮り、当事者の申立によらない穏密妥結によるもの で全部解決済)特に中小企業者にあつては経済的影響 (公式調整事件は八件

印発 市 東 町

剛 J M 鳥 取 鳥 取 県 鳥 鳥取鳥取 市 取東 原町 取

锎

印

Ħ